

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	コンピュータ実習 I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	実習	単位数	3 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	パソコンソフト「Word」の基本操作を習得し、MOS (Microsoft Office Specialist) Word2016の合格を目標とする。		
6	授業の概要	ワードの操作方法を学び、会社の仕事で必要なビジネス文書作成ができる力を身につけます。また、世界共通の資格であるMOS Word一般レベルの合格を目指します。		
7	成績評価方法	<input type="checkbox"/> 筆記テスト <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 作品制作 <input type="checkbox"/> 課題&実習 <input checked="" type="checkbox"/> その他(実技試験)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	大里恵子 専門学校・大学などでのPC研修の経験ノウハウを生かし、親切丁寧な反復トレーニング方式で、単科ごとに疑問を残さない確実かつ円滑な授業を進める。		
9	授業計画および学習内容			
	週・2回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	PCの基本操作		
	2	WORDの基本操作		
	3	文字		
	4	表		
	5	グラフィック		
	6	段落		
	7	書類作成(段落・グラフィック操作)		
	8	書類作成(段落・スマートアート)		
	9	書類作成(ページデザイン・グラフィック)		
	10	書類作成(図形)		
	11	セクション、編集記号		
	12	チラシ作成		
	13	総復習		
	14	MOS模擬実施・解説		
	15	単位認定試験		
	16			
	17			
	18			
19				
20				

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	コンピュータ実習Ⅱ		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	実習	単位数	2 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	パソコンソフト「Excel」の基本操作を習得し、MOS(Microsoft Office Specialist) Excel2016の合格を目標とする。		
6	授業の概要	エクセルの操作方法を学び、会社の仕事に必要な表作成、グラフ作成、データベース機能ができる力を身につけます。また、世界共通の資格であるMOS Excel一般レベルの合格を目指します。		
7	成績評価方法	<input type="checkbox"/> 筆記テスト <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 作品制作 <input type="checkbox"/> 課題&実習 <input checked="" type="checkbox"/> その他(実技試験) 100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	大里恵子 専門学校・大学などでのPC研修の経験ノウハウを生かし、親切丁寧な反復トレーニング方式で、単科ごとで疑問を残さない確実かつ円滑な授業を進める。		
授業計画および学習内容				
週・2回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
1	1	Excelの基本操作		
2	2	セルの書式設定		
3	3	テーブルの作成と管理・スタイル		
4	4	テーブルの設定オプションと管理・レコードの抽出と並べ替え		
5	5	関数を使用したデータの集計		
6	6	グラフの作成		
7	7	オブジェクトの挿入・書式設定		
8	8	総復習		
9	9	MOS模擬実施・解説		
10	10	単位認定試験		
11	11			
12	12			
13	13			
14	14			
15	15			
16	16			
17	17			
18	18			
19	19			
20	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	キャリアプログラム I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	将来の目標を明確にし、それに向けて2年間の専門学校生活をよりよいものにするための計画を立てる。就職活動のスケジュールもきちんと理解、把握する。		
6	授業の概要	進路活動の準備として、自己研究から始まり、履歴書の作成(自己PR・志望動機)、就職試験のエントリーシート対策・面接試験対策など、就活全般の基本を学び始めます。		
7	成績評価方法	<input type="checkbox"/> 筆記テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 作品制作 <input type="checkbox"/> 課題&実習 <input type="checkbox"/> その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	永富房代		
		講義形式を基本としながら、適宜PC教室を使い、会社・業界の就職情報収集の方法を伝授し、学生が自分で志望企業を探せる授業を展開する。		
授業計画および学習内容				
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	キャリアプランの大切さを知ろう		
	2	「働く」ってどんなこと?		
	3	人生のマネープランを立てよう		
	4	専門学校での2年間をどう過ごす?		
	5	将来のことを考えるための自己理解		
	6	自分の強みを見つけよう		
	7	適職を見つけよう		
	8	業界と職種を知ろう		
	9	「社会人基礎力」は身につけていますか?		
	10	就職活動の流れを知ろう		
	11	スケジュールを考えよう		
	12	ハローワークに登録してみよう		
	13	企業にアプローチ(エントリー)しよう		
	14	情報収集して視野を広げよう		
	15	企業にアプローチ(エントリー)しよう		
	16	就職フェアに参加してみよう		
	17	会社訪問をしてみよう①		
	18	会社訪問をしてみよう②		
	19	会社訪問をしてみよう③		
	20	単位認定試験		

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	キャリアプログラムⅡ		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	進路決定に向けて、筆記試験・面接試験を突破する力を身につける。将来の目標を明確にし、それに向けて2年間の専門学校生活をよりよいものにするための計画を立てる。就職・進学の進路活動のスケジュールもきちんと理解、把握する。		
6	授業の概要	就職・進学活動の準備として、ハローワークや大学審げく就職情報会社の担当者から最状況をレクチャーしてもらい、目指す業界・企業・大学・大学院の研究をします。		
7	成績評価方法	<input type="checkbox"/> 筆記テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 作品制作 <input type="checkbox"/> 課題&実習 <input type="checkbox"/> その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	<p>■徳永博子(実務経験教員)</p> <p>将来の社会人としての意義や心構えを教える。担当教員は、フリーランスのアナウンサーとしてニュース番組の仕事の経験があり、またキャリアコンサルティング技能士として企業におけるビジネスマナーやスタッフメンタルケアの研修も行い、自分で自身のキャリアをプランニングできるような授業を展開する。</p>		
授業計画および学習内容				
9	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	筆記試験対策(SPI言語分野)		
	2	筆記試験対策(SPI非言語分野)		
	3	自己PR作成		
	4	志望動機作成		
	5	履歴書作成		
	6	面接練習(個人)		
	7	面接練習(グループ)		
	8	面接練習(圧迫)		
	9	総復習		
	10	単位認定試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
20				

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	英会話 I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	ビジネスシーンにおける英会話の習得を目標とする。		
6	授業の概要	企業との取引や海外出張で、仕事を進めることが出来る最低レベルの会話能力を習得します。上級者には、取引先や顧客との交渉をスムーズに進められるレベルで行います。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他(授業時での会話力)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	金 薫好 NGO機関でグローバルに活躍した経歴を持つ担当教員が、英語でのコミュニケーション力を引き出してくれる授業を実施する。		
授業計画および学習内容				
週・1回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	①Introducing Yourself/Listening,Conversation		
	2	①Introducing Yourself/Reading,Writing,Business Email		
	3	②Introducing Companies/Listening,Conversation		
	4	②Introducing Companies/Reading,Writing,Business Email		
	5	③Explaining Your Role/Listening,Conversation		
	6	③Explaining Your Role/Reading,Writing,Business Email		
	7	④Introducing Products/Listening,Conversation		
	8	④Introducing Products/Reading,Writing,Business Email		
	9	前期 総復習		
	10	単位認定試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
20				

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	英会話Ⅱ		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	引き続き、ビジネスシーンにおける英会話の習得を目標とする。		
6	授業の概要	企業との取引や海外出張で、仕事を進めることが出来る最低レベルの会話能力を習得します。上級者には、取引先や顧客との交渉をスムーズに進められるレベルで行います。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他(授業時での会話力)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	<p>金 薫好</p> <p>NGO機関でグローバルに活躍した経歴を持つ担当教員が、英語でのコミュニケーション力を引き出してくれる授業を実施する。</p>		
授業計画および学習内容				
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	⑤Giving Your Opinion/Listening,Conversation		
	2	⑤Giving Your Opinion/Reading,Writing,Business Email		
	3	⑥Making Requests/Listening,Conversation		
	4	⑥Making Requests/Reading,Writing,Business Email		
	5	⑦Asking Permission/Listening,Conversation		
	6	⑦Asking Permission/Reading,Writing,Business Email		
	7	⑧Making Invitations/Listening,Conversation		
	8	⑧Making Invitations/Reading,Writing,Business Email		
	9	復習(⑤～⑧)		
	10	⑨Making Appointments/Listening,Conversation		
	11	⑨Making Appointments/Reading,Writing,Business Email		
	12	⑩Canceling and Rescheduling/Listening,Conversation		
	13	⑩Canceling and Rescheduling/Reading,Writing,Business Email		
	14	⑪Describing Locations/Listening,Conversation		
	15	⑪Describing Locations/Reading,Writing,Business Email		
	16	⑫Looking after a Visitor/Listening,Conversation		
	17	⑫Looking after a Visitor/Reading,Writing,Business Email		
	18	復習(⑨～⑫)		
	19	前期・後期 総復習		
	20	単位認定試験		

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	社会常識		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	留学生の立場で日本の情報を世界に発信できる知識の習得を目標とする。		
6	授業の概要	日本の歴史・地理などの社会常識だけでなく、文学・芸術や思想・宗教などの面からも日本を深く理解してもらいます。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 □その他(出席状況)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	難波正人 大学・大学院指導に長年携わったベテラン教員として、得点力につながる講義を行う。		
授業計画および学習内容				
9	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	日本とアジア(倭・大和・日本～東アジア文化圏の中の日本)		
	2	日本の歴史と文化(古代・上代／縄文・弥生・古墳・飛鳥・奈良)		
	3	日本の歴史と文化(中古・中世／平安・鎌倉・室町)		
	4	日本の歴史と文化(近世／江戸)		
	5	日本の歴史と文化(近代／明治・大正・昭和太平洋戦争迄)		
	6	日本の歴史と文化(現代／昭和戦後・平成・令和)		
	7	日本の思想(神道・仏教・儒教・国学・近代日本思想)		
	8	日本の芸術(自然観・文学・演劇・美術・マンガ)		
	9	総復習		
	10	単位認定試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	クラス演習 I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	クラス内でのコミュニティの育成とともに、通常の学習を越えた学習活動を行う。		
6	授業の概要	1年前期期間、クラス活動として、研修や授業補講とともに、学校行事も適宜実施する。		
7	成績評価方法	□筆記テスト □レポート □作品制作 ■課題&実習 ■その他(出席状況)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	<p>永富房代</p> <p>学習面だけでなく、アルバイトの状況など、学生の生活状況を把握すべく、クラス担任が学生の心身の状態にまで気にかけるきめ細やかな授業を心掛けます。</p>		
授業計画および学習内容				
週・1回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	2	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	3	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	4	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	5	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	6	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	7	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	8	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	9	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	10	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	クラス演習Ⅱ		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	クラス内でのコミュニティの育成とともに、通常の学習を越えた学習活動を行います		
6	授業の概要	1年後期期間、クラス活動として、研修や授業補講とともに、学校行事も適宜実施する。		
7	成績評価方法	□筆記テスト □レポート □作品制作 ■課題&実習 ■その他(出席状況)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	永富房代 学習面だけでなく、アルバイトの状況など、学生の生活状況を把握すべく、クラス担当が学生の心身の状態にまで気にかけるきめ細やかな授業を心掛けます。		
9	授業計画および学習内容			
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	2	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	3	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	4	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	5	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	6	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	7	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	8	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	9	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	10	クラス活動の実施(学生への連絡、課題の取り組み、個別面談など)		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
20				

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	校外研修		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	実習	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 通年		
5	到達目標	普段の校内の座学授業では経験できない校外での実経験を通して学習する。		
6	授業の概要	業界や教育界に、座学では学習できない最前線の状況を実際に見学することで、体系的に体得する校外学習型授業です。研修内容、時期、研修場所は別途設定します。		
7	成績評価方法	<div style="text-align: center;"> <input type="checkbox"/>筆記テスト <input type="checkbox"/>レポート <input type="checkbox"/>作品制作 <input checked="" type="checkbox"/>課題&実習 <input checked="" type="checkbox"/>その他(参加状況) </div> <p>100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。</p>		
8	担当教員と授業の特徴	<p>永富房代</p> <p>教室で学んだ知識が、社会でどう活かされているか体感できる授業を実施する。</p>		
授業計画および学習内容				
年2回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
1	1	校外研修事前学習①		
2	2	校外研修①(終日4コマ分相当)		
3	3	校外研修事後レポート提出①		
4	4	校外研修事前学習②		
5	5	校外研修②(終日4コマ分相当)		
6	6	校外研修事後レポート提出②		
7	7			
8	8			
9	9			
10	10			
11	11			
12	12			
13	13			
14	14			
15	15			
16	16			
17	17			
18	18			
19	19			
20	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	TOEIC I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	TOEIC受験に向けての対策を行い、スコアアップを目標とする。		
6	授業の概要	TOEIC(L&R)の受験に向けた語彙力や読解・聴解力の向上を図り、TOEIC試験の傾向と対策を学びます。		
7	成績評価方法	<p style="text-align: center;">■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他(参加状況)</p> <p>100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。</p>		
8	担当教員と授業の特徴	<p>原 功</p> <p>初学者は企業が新入社員に期待するスコア550;点以上のレベルを、前・後期学んだ1年後には企業内で通常業務をこなせる英語レベルである700点以上のスコアを目指す。</p>		
授業計画および学習内容				
週・1回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
1	1	TOEIC練習問題 リスニング I		
2	2	TOEIC練習問題 リスニング II		
3	3	TOEIC練習問題 リスニング総合		
4	4	TOEIC練習問題 リーディング I		
5	5	TOEIC練習問題 リーディング II		
6	6	TOEIC練習問題 リーディング総合		
7	7	TOEIC練習問題 模擬試験①		
8	8	TOEIC練習問題 模擬試験②		
9	9	TOEIC練習問題 模擬試験③		
10	10	単位認定試験		
11	11			
12	12			
13	13			
14	14			
15	15			
16	16			
17	17			
18	18			
19	19			
20	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	TOEIC II		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	TOEIC受験に向けての対策を行い、さらなるスコアアップを目標とする。		
6	授業の概要	TOEIC(L&R)の受験に向けた実践的な総合問題を扱い、日本の企業で評価される標準点を目指します。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他(参加状況)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	原 功 初学者は企業が新入社員に期待するスコア550;点以上のレベルを、前・後期学んだ1年後には企業内で通常業務をこなせる英語レベルである700点以上のスコアを目指す。		
授業計画および学習内容				
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	TOEIC練習問題 リスニング I		
	2	TOEIC練習問題 リスニング II		
	3	TOEIC練習問題 リスニング総合		
	4	TOEIC練習問題 リーディング I		
	5	TOEIC練習問題 リーディング II		
	6	TOEIC練習問題 リーディング総合		
	7	TOEIC練習問題 模擬試験①		
	8	TOEIC練習問題 模擬試験②		
	9	TOEIC練習問題 模擬試験③		
9	10	単位認定試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	TOEFL I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	TOEFL受験に向けての対策を行い、スコアアップを目標とする。		
6	授業の概要	TOEFL(iBT)の受験に向けた語彙力や読解・聴解力・作文力の向上を図る授業です。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他(参加状況)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	原 功 各セクションごとの形式とポイントについて分析した上で対策を詳説し、さらに各自が強い分野で確実に得点をすることで、全120点満点中、60点以上を目指す授業です。		
授業計画および学習内容				
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	TOEFL練習問題 Reading アカデミックな長文読解問題		
	2	TOEFL練習問題 Listening 講義形式問題		
	3	TOEFL練習問題 Listening 複数人数による会話問題		
	4	TOEFL練習問題 Speaking Independent Task:2問		
	5	TOEFL練習問題 Speaking Integrated Task:4問		
	6	TOEFL練習問題 Writing Independent Task:1問 Integrated Task:1問		
	7	TOEFL練習問題 模擬試験①		
	8	TOEFL練習問題 模擬試験②		
	9	TOEFL練習問題 模擬試験③		
9	10	単位認定試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	TOEFL II		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	TOEFL受験に向けての対策を行い、スコアアップを目標とする。		
6	授業の概要	TOEFL(iBT)の受験に向けた実践的な総合問題を扱い、高得点を目指します。		
7	成績評価方法	■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 ■その他(参加状況)		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	原 功 各セクションごとの形式とポイントについて分析した上で対策を詳説し、さらに各自の弱点を知り補強することで、全120点満点中、80点以上を目指す授業です。		
授業計画および学習内容				
	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	TOEFL練習問題 Reading アカデミックな長文読解問題		
	2	TOEFL練習問題 Listening 講義形式問題		
	3	TOEFL練習問題 Listening 複数人数による会話問題		
	4	TOEFL練習問題 Speaking Independent Task:2問		
	5	TOEFL練習問題 Speaking Integrated Task:4問		
	6	TOEFL練習問題 Writing Independent Task:1問 Integrated Task:1問		
	7	TOEFL練習問題 模擬試験①		
	8	TOEFL練習問題 模擬試験②		
	9	TOEFL練習問題 模擬試験③		
9	10	単位認定試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	コミュニケーションスキル I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	実習	単位数	3 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	多様な文章を読み解き、それに対する自分の意見を構築し、記述・口述できるようになる。		
6	授業の概要	大学や大学院や企業での面接試験を想定して、会話のやりとりの仕方や態度について学びます。		
7	成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記テスト <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 作品制作 <input type="checkbox"/> 課題&実習 <input type="checkbox"/> その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	永富 房代 長年の日本語指導経験を活かし、学生の日本語コミュニケーション力を上げるべく、個々の学習到達度に注意しながら授業を進めます。		
授業計画および学習内容				
週・2回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	日本語の世界(1)・日本語の世界(2)		
	2	日本語の世界(3)・日本の文化(1)		
	3	日本の文化(2)(3)		
	4	日本の文化(4)・日本人の行動様式(1)		
	5	日本人の行動様式(2)(3)		
	6	言語とコミュニケーション(1)(2)		
	7	言語とコミュニケーション(3)・異文化理解(1)		
	8	異文化理解(2)(3)		
	9	異文化理解(4)・環境と人間(1)		
	10	環境と人間(2)(3)		
	11	環境と人間(4)・ITと情報社会(1)		
	12	ITと上方社会(2)(3)		
	13	ITと上方社会(4)・生物と自然(1)		
	14	生物と自然(2)・心理と哲学(1)		
	15	心理と哲学(2)・単位認定試験		
	17			
	18			
19				
20				

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	コミュニケーションスキルⅡ		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	実習	単位数	2 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	文献を読み、記述・口述で自分の意見を述べることができ、客観的に物事を説明する能力を身につける。		
6	授業の概要	進路活動での要となる面接試験での対応力アップを目的に、表現力講座を適宜入れるなど、実践的な内容で進めます。		
7	成績評価方法	<p style="text-align: center;">■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 □その他()</p> <p>100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。</p>		
8	担当教員と授業の特徴	<p style="text-align: center;">■徳永博子(実務経験教員)</p> <p>将来のビジネスパーソンとしての意義や心構えを教える。担当教員は、フリーランスのアナウンサーとしてニュース番組の仕事の経験があり、またキャリアコンサルティング技能士として企業におけるビジネスマナーやスタッフメンタルケアの研修も行い、自分で自身のキャリアをプランニングできるような授業を展開する。</p>		
授業計画および学習内容				
週・1回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	教育と学び ①		
	2	教育と学び②		
	3	報道とマスコミ①		
	4	報道とマスコミ②		
	5	科学と技術①		
	6	科学と技術②		
	7	現代の社会①		
	8	現代の社会②		
	9	余暇と娯楽①		
	10	余暇と娯楽②		
	11	発想力 ① リストアップ		
	12	発想力 ② マッピング		
	13	読解力① マッピングしながら読む (1)		
	14	読解力② マッピングしながら読む(2)		
	15	表現力① キーワードをつなげる		
	16	表現力② イラストを見て書く		
	17	表現力③ 定義する		
	18	表現力④ 順序を考える		
	19	表現力⑤ 論理的に考える		
	20	単位認定試験		

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	日本語能力 I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	3 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	日本語能力試験の文法や語彙の演習問題を多く取り組むことで、出題形式に慣れる。		
6	授業の概要	日本語の「文法」「語彙」「漢字」の対策授業です。能力別に、日本語能力試験N1の合格を目指します。		
7	成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記テスト <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 作品制作 <input type="checkbox"/> 課題&実習 <input type="checkbox"/> その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	黒田 正平 長年の日本語指導経験を活かし、教師の一方的な講義ではなく、学生に発表させ、相互に会話をすることで、日本語の総合的力を引き出す授業を展開しつつ、日本語能力試験N1の合格を目指させます。		
授業計画および学習内容				
週・2回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	文法 演習1 ・ 語彙 演習1		
	2	文法 演習2 ・ 語彙 演習2		
	3	文法 演習3 ・ 語彙 演習3		
	4	文法 演習4・ 語彙 演習4.		
	5	JLPT 直前対策①		
	6	JLPT 直前対策②		
	7	文法 演習5 ・ 語彙 演習5		
	8	文法 演習6 ・ 語彙 演習6		
	9	文法 演習7 ・ 語彙 演習7		
	10	文法 演習8 ・ 語彙 演習8		
	11	文法 演習9・ 語彙 演習9		
	12	文法 演習10 ・ 語彙 演習10		
	13	JLPT実践 模擬演習①		
	14	JLPT実践 模擬演習②		
	15	JLPT実践 模擬演習③ ・ 単位認定試験		
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	日本語能力 II		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	3 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	日本語能力試験の読解問題に即した解法を習得し、能力試験合格のために大切な聴解スキルを身につける。		
6	授業の概要	日本語の「読解」「聴解」の対等授業です。能力別に、日本語能力試験N1の合格を目指します。		
7	成績評価方法	<p style="text-align: center;">■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 □その他()</p> <p>100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。</p>		
8	担当教員と授業の特徴	<p>新井 光</p> <p>日本語科目授業をコーディネートする責任者として日本語能力試験N1の学生合格率を上げるべく、科目ごとの学習到達度に注意しながら授業を進めます。</p>		
授業計画および学習内容				
週・2回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
1		読解:情報検索 ・ 聴解:音の特徴		
2		読解:実践演習・文章の構成 ・ 聴解:音の変化		
3		読解:内容理解(短文) ・ 聴解: 終助詞		
4		読解:内容理解(短文) ・ 聴解: イントネーション		
5		読解:指示語 ・ 聴解:指示詞		
6		読解:統合理解 ・ 聴解: 副詞		
7		読解・ 聴解:能力試験模擬試験		
8		読解:内容理解(中文) 聴解: 会話		
9		読解:内容理解(中文) 聴解: 課題理解		
10		読解:内容理解(長文) 聴解: ポイント理解		
11		読解:内容理解(長文) 聴解:概要理解		
12		読解:内容理解(長文) 聴解:即時応答		
13		読解:実践演習問題① 聴解:統合理解		
14		読解:実践演習問題② 聴解: 模擬問題①		
15		読解:実践演習問題③ ・ 単位認定試験		
16				
17				
18				
19				
20				

令和 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	プレゼンテーション技法 I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	実習	単位数	2 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	発音やイントネーションに注意しながら発話することができ、グループディスカッションで相手の意見を聞きながら発話することができるようになる。		
6	授業の概要	自分の意見を短くまとめ、分かりやすく相手に伝える方法について学びます。		
7	成績評価方法	<p style="text-align: center;">■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 □その他()</p> <p>100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。</p>		
8	担当教員と授業の特徴	<p>永富 房代</p> <p>長年の日本語指導経験を活かし、学生の日本語プレゼンテーション力を上げるべく、個々の学習到達度に注意しながら授業を進めます。</p>		
授業計画および学習内容				
週・1回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
1	1	発音 基本①・②		
2	2	発音 基本③・④		
3	3	動詞のアクセント		
4	4	形容詞のアクセント		
5	5	文末イントネーション		
6	6	スピーチ① 私のストレス解消法		
7	7	スピーチ② ニュース発表		
8	8	会話① あいづち		
9	9	会話② 質問をする		
10	10	3分スピーチ①		
11	11	スピーチ②		
12	12	スピーチ③		
13	13	物の説明をする		
14	14	絵を見ながら説明する		
15	15	動きの説明をする		
16	16	あいづちをうつ		
17	17	自分の意見を述べる		
18	18	論作文		
19	19	グループディスカッション①		
20	20	グループディスカッション②(単位認定試験)		

令和 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	プレゼンテーション技法Ⅱ		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	実習	単位数	2 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	協働学習を通じてスピーチの内容を精査し、より内容豊かな口頭でのコミュニケーションを行うことができるようになる。		
6	授業の概要	資料や視覚材料を活用し、効果的に自分の意見を伝える方法について学びます。		
7	成績評価方法	<input type="checkbox"/> 筆記テスト <input type="checkbox"/> レポート <input checked="" type="checkbox"/> 作品制作 <input checked="" type="checkbox"/> 課題&実習 <input type="checkbox"/> その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	永富 房代 長年の日本語指導経験を活かし、学生の日本語プレゼンテーション力をさらに上げるべく、引き続き、個々の学習到達度に注意しながら授業を進めます。		
授業計画および学習内容				
週・1回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	聴衆分析		
	2	話題選び		
	3	話し手の心得		
	4	聞き手の役割		
	5	自己紹介		
	6	説明力を鍛える①		
	7	説明力を鍛える②		
	8	体験談の描写①		
	9	体験談の描写②		
	10	知識・情報伝達①		
	11	知識・情報伝達②		
	12	質疑応答①		
	13	質疑応答②		
	14	魅力を伝える①		
	15	魅力を伝える②		
	16	フリースピーチ①		
	17	フリースピーチ②		
	18	最終プレゼン準備①		
	19	最終プレゼン準備②		
	20	プレゼン発表(単位認定試験)		

令和 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	社会事情 I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2 単位
4	学年・期	1年 前期		
5	到達目標	日本留学試験対策での総合科目の得点力を増します。		
6	授業の概要	指定テキストを使用し、各單元ごとにミニテストを実施。必要に応じて各種映像、書籍の引用、プリント配布などを行う。		
7	成績評価方法	<p style="text-align: center;">■筆記テスト □レポート ■作品制作 □課題&実習 □その他()</p> <p>100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。</p>		
8	担当教員と授業の特徴	<p>難波正人</p> <p>大学・大学院指導に長年携わったベテラン教員として、得点力につながる講義を行う。</p>		
授業計画および学習内容				
週・2回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
1	I	地理①		
2	I	地理②		
3	II	歴史①		
4	II	歴史②		
5	III	現代の経済①		
6	III	現代の経済②		
7	IV	現代の政治・国際社会①		
8	IV	現代の政治・国際社会②		
9		総復習		
10		単位認定試験		
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

令和 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	社会事情Ⅱ		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2単位
4	学年・期	1年 後期		
5	到達目標	日本留学試験対策での総合科目の得点力を増します。		
6	授業の概要	指定テキストを使用し、各單元ごとにミニテストを実施。必要に応じて各種映像、書籍の引用、プリント配布などを行う。		
7	成績評価方法	<p style="text-align: center;">■筆記テスト □レポート ■作品制作 □課題&実習 □その他()</p> <p>100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。</p>		
8	担当教員と授業の特徴	<p>難波正人</p> <p>大学・大学院指導に長年携わったベテラン教員として、得点力につながる講義を行う。</p>		
授業計画および学習内容				
週・2回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
1	I	地理、過去問題演習		
2	II	歴史、過去問題演習		
3	III	現代の経済、過去問題演習		
4	IV	現代の政治、過去問題演習		
5	V	現代の国際社会、過去問題演習		
6	VI	現代の社会、過去問題演習		
7	VII	日本留学試験 総合科目 過去問題演習①		
8	VIII	日本留学試験 総合科目 過去問題演習②		
9	9	総復習		
10	10	単位認定試験		
11	11			
12	12			
13	13			
14	14			
15	15			
16	16			
17	17			
18	18			
19	19			
20	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	時事研究		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	2 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	面接試験や論作文の予備知識として最新時事情報を習得する。		
6	授業の概要	面接試験や論作文の予備知識として活用できる時事の最新情報を研究します。主にニュース記事を扱い、ルーツが正確な情報を取捨選択できる力を養える授業です。		
7	成績評価方法	<p style="text-align: center;">■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 □その他()</p> 100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	<p style="text-align: center;">■坂本広幸(実務経験教員)</p> 科目の特性上、講義形式を基本とするが、教養系からリテールマーケティング(販売士)や経営学系まで、幅広いビジネス分野の科目を教える。内外のニュース記事をタイムリーに取り上げ、テーマによっては学生に発表をさせる演習形式の時間も適宜取り入れる。担当教員は、旅行会社に勤務した経験があり、海外代理店との折衝業務の仕事を経験しており、特に中国の社会・政治・経済の事情に詳しく、ファイナンシャルプランナー・旅行業務取扱管理者の有資格者でもあり、国際ビジネスの実例を踏まえた授業を展開する。		
授業計画および学習内容				
9	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	【ニュース検定】暮らし分野(社会で働くということ)		
	2	【ニュース検定】減る人口(日本はどこへ?)		
	3	【ニュース検定】社会・環境分野(「環境」を守るために)		
	4	【ニュース検定】災害列島ニッポン		
	5	【ニュース検定】憲法と私たちの暮らし		
	6	【ニュース検定】国際分野(日本と関係の深い国)		
	7	【ニュース検定】変わる日本の貿易・産業		
	8	【ニュース検定】社会保障の未来は?		
	9	【ニュース検定】共生社会への道のり		
	10	【ニュース検定】政治(政治参加と選挙制度)		
	11	【ニュース検定】経済(足踏みする財政再建)		
	12	【ニュース検定】暮らし(加速続く「人口減少」)		
	13	【ニュース検定】国際(難民・移民揺れる世界と米中対立)		
	14	【ニュース検定】N検模擬試験(準2級)①		
	15	【ニュース検定】N検模擬試験(準2級)②		
	16	【ニュース検定】N検模擬試験(2級)①		
	17	【ニュース検定】N検模擬試験(2級)②		
	18	【ニュース検定】N検模擬試験(1級)①		
	19	【ニュース検定】N検模擬試験(1級)②		
	20	単位認定試験		

令和 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	論作文 I		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	2 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	志望動機、研究計画書、作文、小論文の作成について基礎から学習し、論作文力を身につけることを目標とする。		
6	授業の概要	研究計画書、小論文でよく使われる文の形、語と表現、引用、句読点、標記規則、論文の構成について学習します。		
7	成績評価方法	<input type="checkbox"/> 筆記テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 作品制作 <input checked="" type="checkbox"/> 課題&実習 <input type="checkbox"/> その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	難波正人 大学・大学院指導に長年携わったベテラン教員として、論作文力がつく講義を行う。		
授業計画および学習内容				
週・2回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	大学・大学院に進学する目的を考える		
	2	志望動機を考える		
	3	学問動機を考える		
	4	研究課題を考える		
	5	研究計画書の構成を学ぶ		
	6	進学先の大学の校風・歴史・特色を調べる		
	7	志望・研究目的素案作成①		
	8	志望・研究目的素案作成②		
	9	志望・研究目的素案作成③		
	10	参考文献リスト完成、単位認定試験(論作文提出)		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	論作文Ⅱ		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	2 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	志望動機、研究計画書、作文、小論文の論作文力を習得することを目標とする。		
6	授業の概要	研究計画書、小論文でよく使われる文の形、語と表現、引用、句読点、標記規則、論文の構成について学習します。		
7	成績評価方法	<input type="checkbox"/> 筆記テスト <input checked="" type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 作品制作 <input checked="" type="checkbox"/> 課題&実習 <input type="checkbox"/> その他() 100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	難波正人 大学・大学院指導に長年携わったベテラン教員として、論作文力がつく講義を行う。		
授業計画および学習内容				
週・2回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
1	1	大学の学科について調べる		
2	2	学科の教授について調べる		
3	3	【大学院】研究計画書について		
4	4	【大学院】研究計画書の構成を学ぶ		
5	5	【大学院】研究課題の書き方を学ぶ		
6	6	【大学院】研究課題の絞り込みを学ぶ		
7	7	志望・研究目的作成①		
8	8	志望・研究目的作成②		
9	9	志望・研究目的作成③		
10	10	志望動機・研究計画書完成、単位認定試験(論作文提出)		
11	11			
12	12			
13	13			
14	14			
15	15			
16	16			
17	17			
18	18			
19	19			
20	20			

令和 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	論作文Ⅲ		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	演習	単位数	2 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	志望動機、研究計画書、作文、小論文の論作文力を習得することを目標とする。		
6	授業の概要	実際の事例を取り上げ、テーマを絞りこんで、実際に論文を書いてみる授業です。		
7	成績評価方法	□筆記テスト ■レポート □作品制作 ■課題&実習 □その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	難波正人 大学・大学院指導に長年携わったベテラン教員として、論作文力がつく講義を行う。		
授業計画および学習内容				
週・2回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	【テーマ】①シングルマザーの生き方(「萩大島船団丸」坪内知佳)漁業の第7次産業化		
	2	【テーマ】①シングルマザーの生き方(「萩大島船団丸」坪内知佳)漁業コンサルティング、漁師の雇用確保		
	3	【テーマ】②貧困格差(大阪・西成地区)「あいりん地区の日常」高齢者の再雇用の難しさ		
	4	【テーマ】②貧困格差(大阪・西成地区)「あいりん地区の日常」健康問題、キャリアプランニングの難しさ		
	5	【テーマ】③貧困格差(未婚者、離別・死別者のシングル生活)		
	6	【テーマ】③貧困格差(高齢者の転居の難しさ)		
	7	【テーマ】④貧困格差(賃金格差にあえぐ労働者、正規雇用と非正規雇用の格差)		
	8	【テーマ】④貧困格差(過重労働 ブラック企業/アリさんマークの引越社、ドン・キホーテ、ワタミ)		
	9	総復習(論作文提出)		
	10	単位認定試験(論作文提出)		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	経営学概論		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	経営学の基礎的知識を修得する。		
6	授業の概要	企業経営に必要な「企業システム」「経営戦略」「経営組織」「経営管理」「経営課題」等の基礎知識を全般的に学習していきます。		
7	成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記テスト <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 作品制作 <input type="checkbox"/> 課題&実習 <input type="checkbox"/> その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	■戸田 江里子(実務経験教員) 科目の特性上、講義形式を基本とするが、経営学の基礎理論を教える。マーケティング活動実例を取り上げ、演習形式の時間も適宜取り入れる。担当教員は、就転職・進学情報提供を主業務とする日本の大手人材広告企業でPC出版など様々な業務に長年従事し、現在はWebサイトの会社を経営しており、企業がITを活かしたビジネスを運営する際に生じる実例を踏まえた授業を展開する。		
9	週・1回	週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
	1	経営戦略(伝統的基礎)①		
	2	経営戦略(最新発展経型)②		
	3	経営戦略の体系と理論		
	4	全体戦略、成長マトリックス		
	5	成長のための戦略		
	6	CVP分析とM&A		
	7	経営のグローバリゼーション		
	8	企業の社会的責任(CSR)と環境経営		
	9	総復習		
	10	単位認定試験		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
20				

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	経済学概論		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 前期		
5	到達目標	国内と海外の経済の仕組みを経済学の視点から考える習慣を養う。		
6	授業の概要	我々を取り巻く経済の仕組みや、様々な経済活動の仕組みの基本を学びます。生産・消費・売買など、「お金の動き」にまつわるさまざまなこと、「お金になり得る価値」を生み出すために、人々がどんな活動をしているのかを広く学びます。		
7	成績評価方法	<p style="text-align: center;">■筆記テスト □レポート □作品制作 □課題&実習 □その他()</p> <p>100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。</p>		
8	担当教員と授業の特徴	<p style="text-align: center;">■三浦 義広(実務経験教員)</p> <p>科目の特性上、講義形式を基本とするが、経済学の基礎理論を教える。ミクロ・マクロ経済学を数式を使わず、内外の経済記事から実例を取り上げ、演習形式の時間も適宜取り入れる。担当教員は、日本のメガバンクや米国の銀行で為替業務、さらに日本最大の証券会社での新規顧客開拓業務に従事するなど、金融の世界で約30年の経験を積み、現在は自らコンサルティング会社を設立しており、また日商簿記1級・中小企業診断士・MBAの有資格者でもあり、ビジネスの現場での実経験を踏まえた授業を展開する。</p>		
授業計画および学習内容				
週・1回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
1		「経済社会の変容と経済体制」		
2		「現代の企業(国内編)」		
3		「現代の企業(グローバル編)」		
4		「現代の市場」		
5		「国民所得」		
6		「日本経済」		
7		「国際経済」		
8		「経済成長と景気循環」		
9		総復習		
10		単位認定試験		
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				

令和 2 年度 授業計画書(シラバス)

1	科目名	ITリテラシー		
2	学科・コース	国際コミュニケーション学科		
3	授業方法・単位	講義	単位数	1 単位
4	学年・期	1 年 後期		
5	到達目標	国内と海外の経済の仕組みを経済学の視点から考える習慣を養う。		
6	授業の概要	我々を取り巻く経済の仕組みや、様々な経済活動の仕組みの基本を学びます。生産・消費・売買など、「お金の動き」にまつわるさまざまなことと、「お金になり得る価値」を生み出すために、人々がどんな活動をしているのかを広く学びます。		
7	成績評価方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記テスト <input type="checkbox"/> レポート <input type="checkbox"/> 作品制作 <input type="checkbox"/> 課題&実習 <input type="checkbox"/> その他()		
		100点満点とし、定期試験(6割)、ミニテスト(1割)、出席率(1割)、授業態度(1割)、その他(1割)を目安に評価する。 なお、当該科目の出席率が2/3未満の場合には、成績評価の対象外となる。		
8	担当教員と授業の特徴	鍵田 哲 設計技師としての勤務経験と専門学校での長年の指導経験から、IT未学の学生にも、ITリテラシーの知識が会社でどう活かされているか易しく教える授業を実施する。		
授業計画および学習内容				
週・1回		週または回ごとの授業内容、答案練習・模擬試験等の実施予定など		
9	1	テクノロジー系 アルゴリズムとプログラミング		
	2	テクノロジー系 コンピュータの構成要素		
	3	テクノロジー系 システムの構成要素		
	4	テクノロジー系 ソフトウェア&ハードウェア		
	5	テクノロジー系 ヒューマンインターフェース&マルチメディア		
	6	テクノロジー系 データベース		
	7	テクノロジー系 ネットワーク		
	8	テクノロジー系 セキュリティ		
	9	テクノロジー系 ネットワーク		
	10	単位認定試験(ストラテジ・マネジメントのみ)		
	11			
	12			
	13			
	14			
	15			
	16			
	17			
	18			
	19			
	20			